

### 3 平成 29 年度予算の主な事業

#### 1 新しいひとの流れをつくり、女性や若者が定着するまちの創出

新しいひとの流れをつくり、女性や若者の定着につながるようなまちの魅力を創出・発信し、アクティブシニアを含めた本市への定住・移住を積極的に促進します。

また、本市の優れた文化・芸術を発信することにより、シビックプライドを醸成するとともに、観光インバウンド対策を推進し、まちのにぎわいの創出につなげていきます。

#### (1) 本市への定住・移住促進に向けた取組みを推進

##### ① 北九州市未来人材支援基金設置事業

…………… 2億6,000万円

北九州市内の企業で中長期的に活躍し、本市の産業を担う人材を全国から確保・育成することを目的に、新卒者等の市内企業への就職と定住を条件に奨学金の返還を支援します。



##### ② 情報発信強化推進事業 …………… 4,000万円

“首都圏をはじめとした市外” へ向けた本市の魅力発信及び“若者層” へ向けた情報発信を、各事業担当部署や東京事務所との連携、民間力の活用及び自主媒体の強化を図ることにより戦略的に展開します。



#### (2) 文化を活かしたにぎわいの創出

##### ① 美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」

…………… 600万円

小学3年生を対象にリニューアル後の美術館を舞台に美術鑑賞プログラムを実施します。(29年度は20校程度を試行的に実施)



#### (3) スポーツによるにぎわいの創出

##### ① 大規模国際大会誘致関係事業 …… 7,200万円

大規模国際大会等の誘致並びにその前後のスポーツ交流や文化交流等へとつなげることを目的として、官民一体となった「北九州市大規模国際大会等誘致委員会」による積極的な誘致活動や備品の整備を行います。



## (4) 観光や MICE 等によるにぎわいの創出

### ① 小倉城周辺整備関連予算 …… 6億3,200万円

本市を代表する観光資源である小倉城周辺の魅力向上を図り、外国人観光客をはじめ、国内外からの観光客増に向けた取組を実施します。



### ② 若戸大橋ライトアップによる 北九州都市圏魅力向上事業 …… 9,000万円

夜景観光のシンボルとなる若戸大橋ライトアップ施設の整備を進める。また、夜景観賞モニターツアー等を実施して、北九州都市圏での周遊観光を促進し、滞在時間や宿泊者の増加を図ります。



## 2 学校施設等公共施設の老朽化対策の推進

公共施設等において天井や外壁のコンクリート等の落下事故が発生したことを受けて、公共施設等の老朽化対策に重点的に予算配分を行うことにより、市民が安心して公共施設等を利用できるように努めます。

### (1) 学校施設の老朽化対策

#### ① 学校施設老朽化対策事業 …… 9億7,400万円

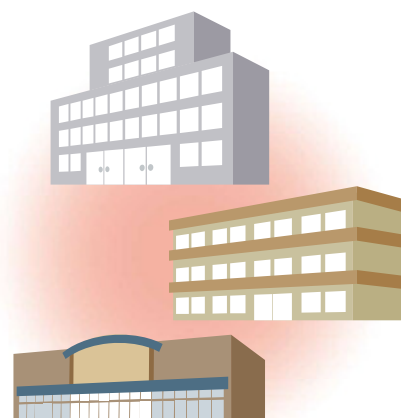
学校施設の老朽化について、既存の学校施設を安全で安心な状態で利用できるように改築までの建築年度に応じた改修計画をたて、大規模改修や外壁改修などを実施します。



### (2) その他公共施設等の老朽化対策

#### ① その他公共施設等の老朽化対策 …………… 21億3,800万円

天井や外壁のコンクリート等の落下事故が発生したことを受けて、公共施設等（市民センター・レインボープラザ・市営住宅等）の老朽化対策に重点的に予算配分を行うことにより、市民が安心して公共施設などを利用できるよう努めます。



## 3 本市の強みを活かし、魅力あるしごとを創出

本市の強みを活かして、産業を振興し、魅力ある仕事を創出するため、「国家戦略特区」や新成長戦略を推進します。

また、市民生活に身近な公共事業を実施することで、地域経済の活性化につなげていきます。

### (1) 新成長戦略の推進

#### ① 国家戦略特区関連予算 …… 1億3,900万円

「先進的介護」の実現に向けた介護ロボットの導入実証や、次世代自動車の研究開発拠点を目指し、自動運転技術等の開発や実証を行う企業を支援します。また、ロボット研究開発拠点を目指し、ドローンなどのインフラ点検ロボットの開発や実証を行う企業や大学を支援します。



出典：厚生労働省 提供

#### ② 北九州空港将来ビジョン推進強化関連予算 …………… 7億3,900万円

「北九州空港将来ビジョン」に基づき、福岡県との緊密な連携のもと、さらに取組みを強化します。特にアジアを中心とする旺盛な訪日需要を取り込むため、新規の国際・国内定期便を誘致するための助成や、インバウンド（訪日旅行）の集客を呼び起こして新規路線の定着に向けた事業を実施します。



#### ③ クルーズ船誘致事業 …… 1億円

ひびきコンテナターミナルへの大型クルーズ船の寄港時、警備員の配置やシャトルバス運行による安全対策等を実施するとともに、船社等へのセールス・招へい活動による、国内外のクルーズ船の寄港を促進します。



### (2) 投資的経費

#### ① 折尾地区総合整備事業 …… 57億3,100万円

平成30年度の筑豊本線の高架切替に向けて、引き続き鉄道高架工事を実施するとともに、駅周辺の道路改築工事や堀川町地区の宅地整備工事、東側地区の家屋移転などを引き続き実施します。



## 4 安心して子どもを生み育てることのできるまちの創出

子育て支援については、保育所や認定こども園の整備などの待機児童対策や、子どもの自立を支えるための支援など、子育て環境の更なる充実に取り組み、「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指します。

また、子どもの教育については、学力の向上を図るとともに、特別支援教育の充実や子どもの読書活動の推進など、教育環境の向上を図ります。

### (1) 子育て環境の更なる充実

#### ① 「待機児童対策」の推進、教育・保育の質の向上関連予算 …… 310億8,300万円

保育所等の入所定員798人分(予定)の拡大に着手するなど、待機児童対策についてさらなる着実な成果を創出します。



#### ② 子ども医療費支給制度 …… 31億5,400万円

子育てに関する経済的負担を軽減するため、通院は小学校6年生、入院は中学校3年生までの子どもに係る保険診療による医療費の自己負担額を一部助成します。



### (2) 教育環境の更なる充実

#### ① 学力向上に向けた取組み関連予算 …… 11億5,000万円

放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」や本市独自の学力調査の拡充実施、習熟度別指導や専科指導等を行う学校支援講師の配置など、学力向上に向けたさらなる取組みの充実を図ります。



#### ② 小倉南図書館整備推進事業 …… 5億1,400万円

小倉南区の地区図書館として平成29年度中の開館に向け、引き続き新築工事を行うほか、図書資料の購入等を行います。



### ③ 特別支援学校スクールバス運行体制の整備

…………… 2億1,600万円

特別支援学校スクールバスの利用者数増加に伴い、乗車時間の長時間化や乗車人数の過密化が喫緊の課題となっているため、車両の増車等により運行体制を整備します。(スクールバス運行台数 H28年度: 19台 → H30年度: 21台)



## (3) 平和への取組みの推進

### ① 非核・平和推進事業 …………… 1,000万円

戦争の悲惨さや平和の尊さを市民に伝えるため、「嘉代子桜・親子桜」の市立特別支援学校等への植樹や「青少年ピースフォーラム」への小中学生及び高校生の派遣、親子で平和の尊さを考える長崎市への市民(親子)派遣等に取り組みます。



## 5 誰もが安心して暮らせるまちの創出

健康で長寿の社会づくりを進めていくため、地域包括ケアシステムの構築など、地域の実情やニーズに応じたきめ細かな高齢者政策に取り組みます。

また、「北九州市安全・安心条例」に基づき、市民の防犯意識の向上・犯罪を防止する環境整備等、防犯対策を進めるとともに、犯罪を防ぐ環境整備や防犯対策の強化を進め、浸水対策などの防災対策を推進します。

## (1) 健康で長寿の社会づくりの推進など福祉・医療の充実

### ① 地域包括ケアの推進 …………… 30億6,100万円

医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で継続して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、「医療」「介護」の在宅支援に向けた方向付けや、「介護予防」「住まい」「生活支援」の地域資源が創出されるよう環境づくりを推進します。



### ② 総合療育センター再整備事業… 25億1,900万円

平成30年度中の開所に向け、障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センター再整備工事を実施するとともに、医療機器の購入や情報システムの構築を実施します。



## (2) 安全・安心を実感できるまちづくりの推進

### ① 避難生活支援強化事業 …………… 700万円

大規模災害時における避難所生活を支援するため、避難所用のパーティションや必要な生活必需品を備蓄します。

